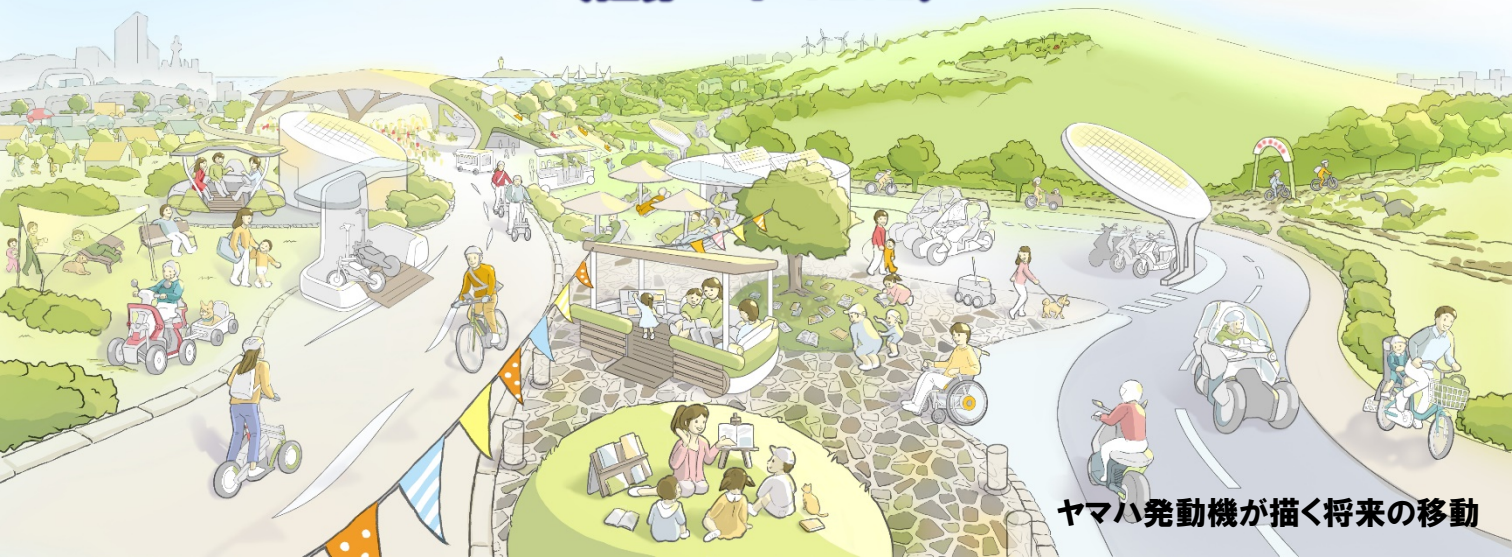


# 2021年12月期 第2四半期決算説明会



ヤマハ発動機株式会社  
2021年8月5日  
(証券コード:7272)



ヤマハ発動機が描く将来の移動

# 本日まで説明する内容

## 2021年12月期 第2四半期決算

代表取締役社長  
取締役

日高 祥博  
大川 達実

### ● 業績予想について

この説明資料内で述べられているヤマハ発動機株式会社の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、様々な要因の変化により大きく異なることがありえますことをご承知おき下さい。実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済状況及び製品需要の変動、為替相場の変動等が含まれます。

# 概要説明

代表取締役社長 日高 祥博

# 上期実績のポイント

## ■ 外部環境

- ・ワクチン接種の拡がりに伴う経済活動の回復
- ・グローバルなサプライチェーンの混乱、原材料価格の高騰

## ■ 事業環境

- ・先進国事業： アウトドアレジャー・パーソナルモビリティ需要が継続
- ・新興国二輪車事業： 需要が徐々に回復
- ・ロボティクス事業： 全地域での設備投資需要や、半導体需要が旺盛

## ■ 収益力強化

- ・内部体質の改善、デジタル活用等による固定費削減
- ・プレミアム戦略推進による高価格帯モデルの増加

# 主要商品別 当社出荷台数（上期実績）

2019年水準の出荷継続。先進国向けの供給改善が進む。

商品/地域		2020年比			2019年比		
		1Q出荷	2Q出荷	在庫※	1Q出荷	2Q出荷	在庫※
二輪車	欧州・米国・日本	105%	136%	84%	102%	117%	73%
	インドネシア	83%	404%	57%	78%	71%	56%
	タイ	151%	173%	83%	116%	94%	69%
	ベトナム	100%	145%	93%	96%	107%	73%
	フィリピン	114%	282%	91%	83%	84%	59%
	中国	181%	119%	115%	224%	176%	84%
	インド	119%	206%	147%	90%	47%	72%
	ブラジル	108%	195%	99%	121%	151%	95%
ATV+ROV	北米	124%	167%	125%	105%	180%	54%
PAS		122%	142%	-	122%	131%	-
船外機	北米・欧州	108%	119%	96%	86%	110%	68%
マウンター		194%	181%	-	211%	186%	-

※二輪車・ATV+ROVは流通在庫、船外機は拠点在庫の6月末時点台数ベース

# 2021年上期 経営状況

全事業で良好な事業環境となり、増収。

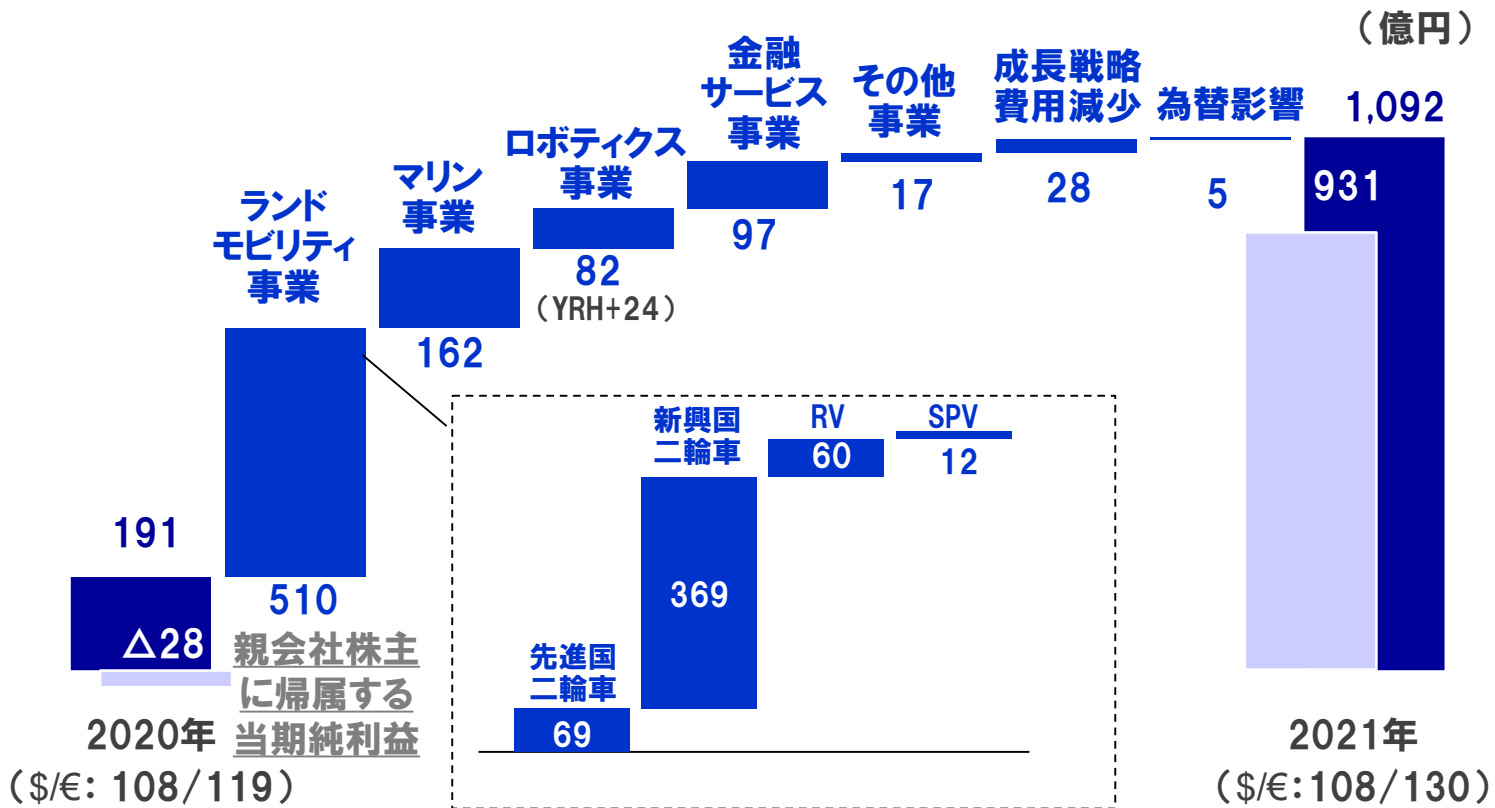
増収効果・ミックス改善等により、大幅に増益。各利益で上期過去最高。

(億円)	2019年 上期	2020年 上期	2021年 上期	2019年 比	2020年 比
売上高	8,559	6,855	9,201	107%	134%
営業利益	690	191	1,092	158%	572%
営業利益率	8.1%	2.8%	11.9%	+3.8pts.	+9.1pts.
経常利益	702	207	1,151	164%	555%
当期純利益※	520	△28	931	179%	—
EPS(円)	148.79	△7.90	266.28	179%	—
(\$・€)	110・124	108・119	108・130	—	—
(\$/IDR・BR\$)	14,126・3.8	14,450・4.9	14,206・5.4	—	—

※ 親会社株主に帰属する当期純利益

# 2021年上期 営業利益変動要因（事業別）

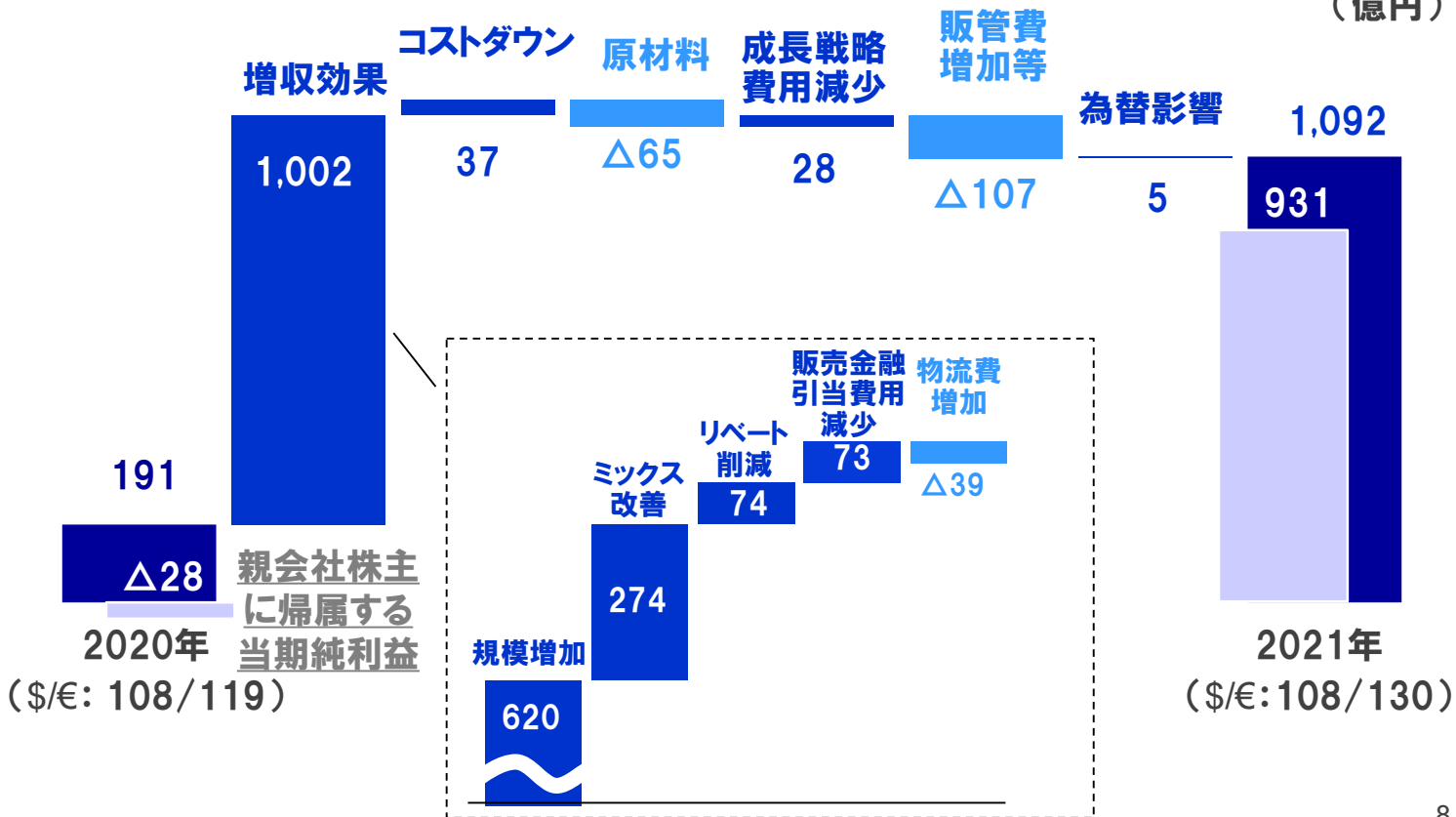
全事業で増益。新興国二輪車でのプレミアム戦略が奏功。



# 2021年上期 営業利益変動要因（要素別）

規模増により増収。原材料価格上昇に対し、ミックス改善・コストダウンを推進。

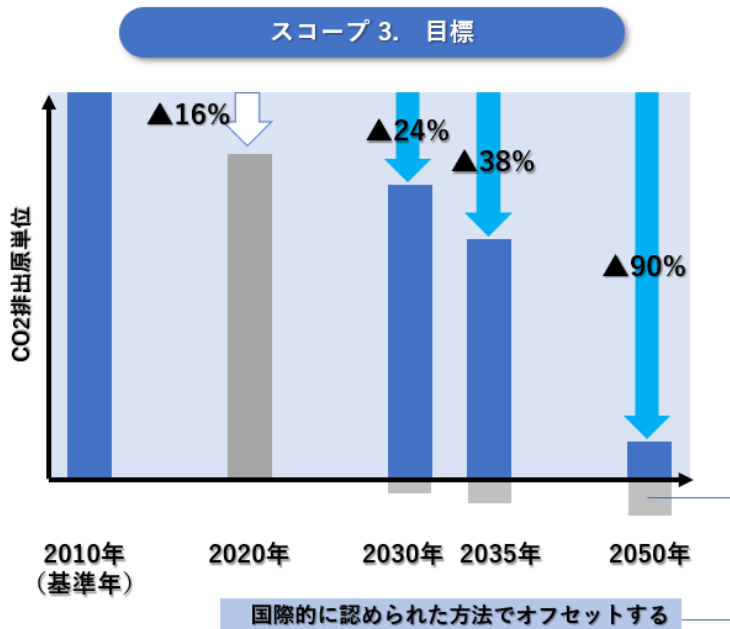
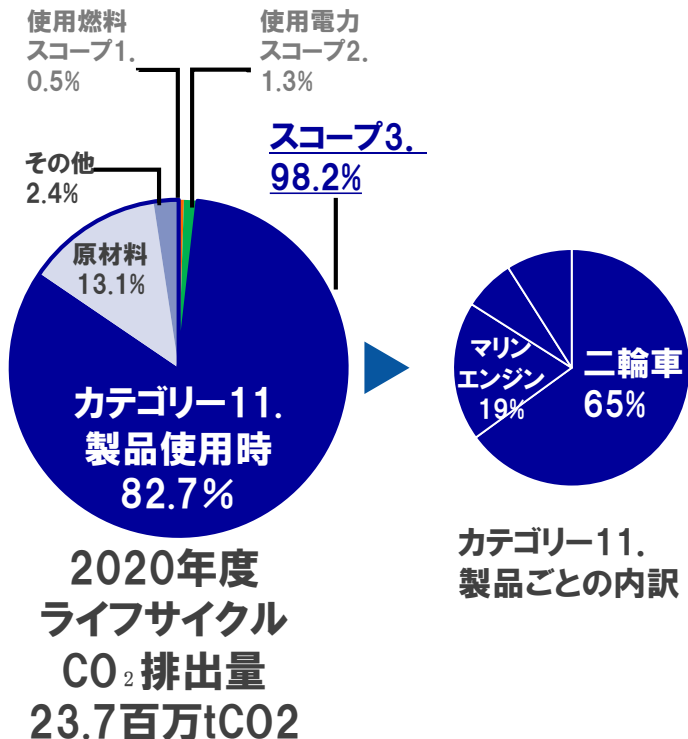
（億円）





# ヤマハ発動機らしいカーボンニュートラル戦略

スコープ 3.(主に製品群からの排出)では、  
2030年▲24%、 2050年カーボンニュートラルを目指す。



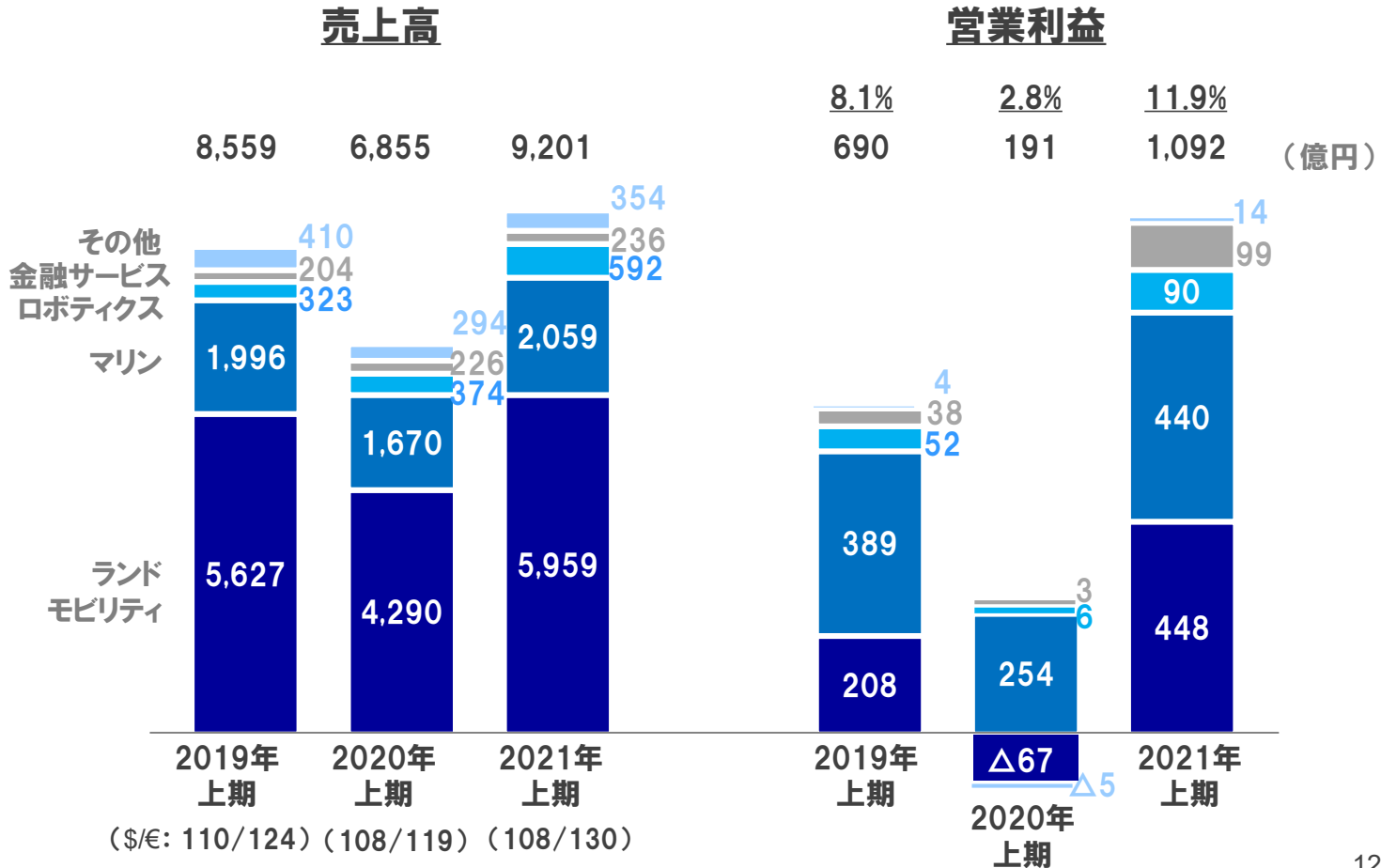


# 事業別説明

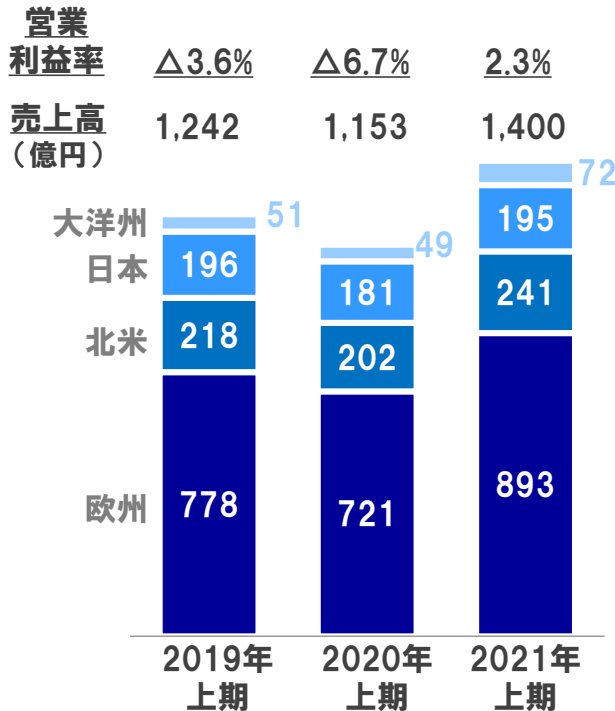
取締役

大川 達実

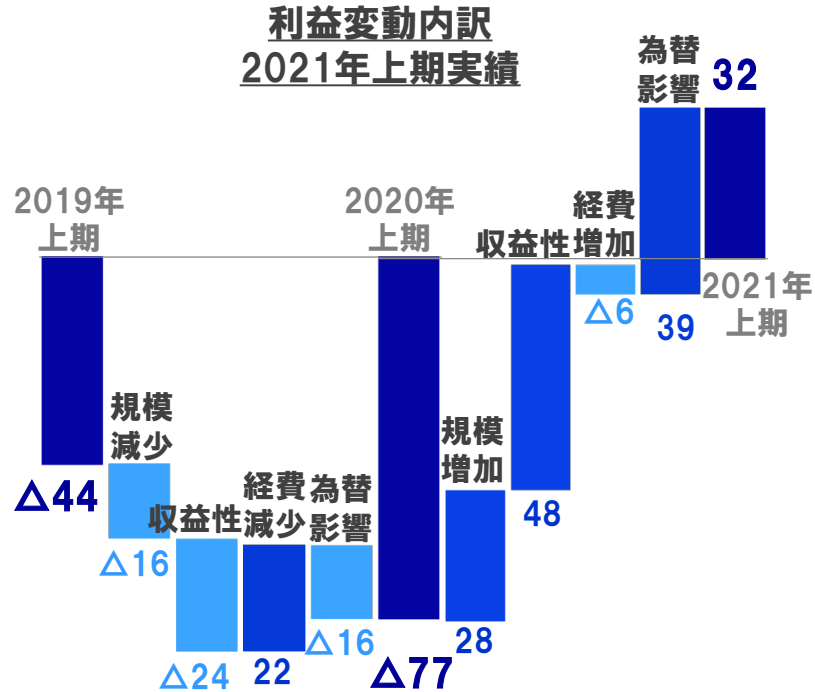
# 事業別 売上高・営業利益



旺盛な需要が継続。供給不足はあるが、全地域で販売台数が増加。  
生産台数の増加・販売効率化が進み、黒字達成。

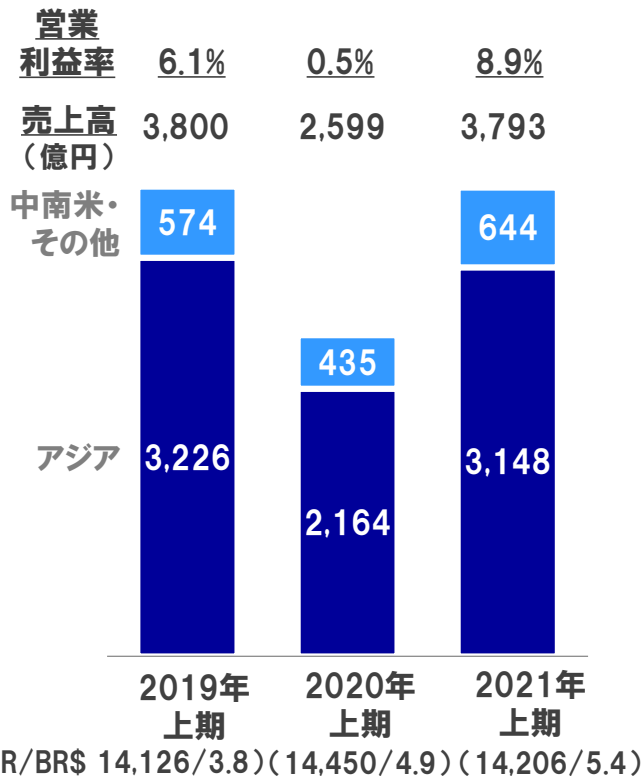


(\$/€: 110/124)(108/119)(108/130)

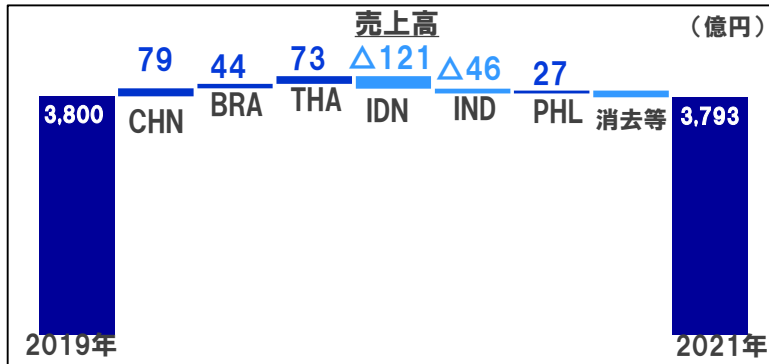
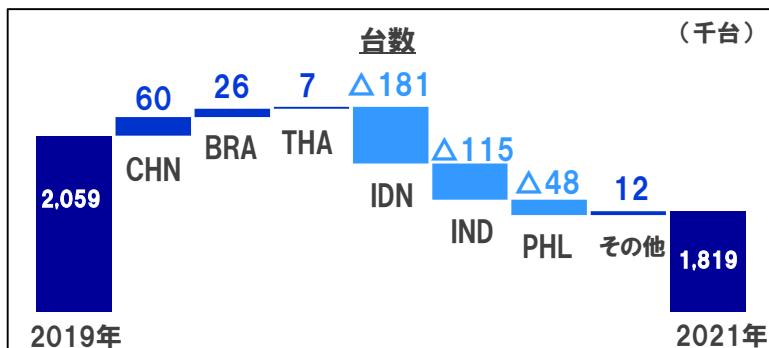


全地域で販売台数が増加。

高価格帯モデルの販売増加により、営業利益率が大幅に向上。

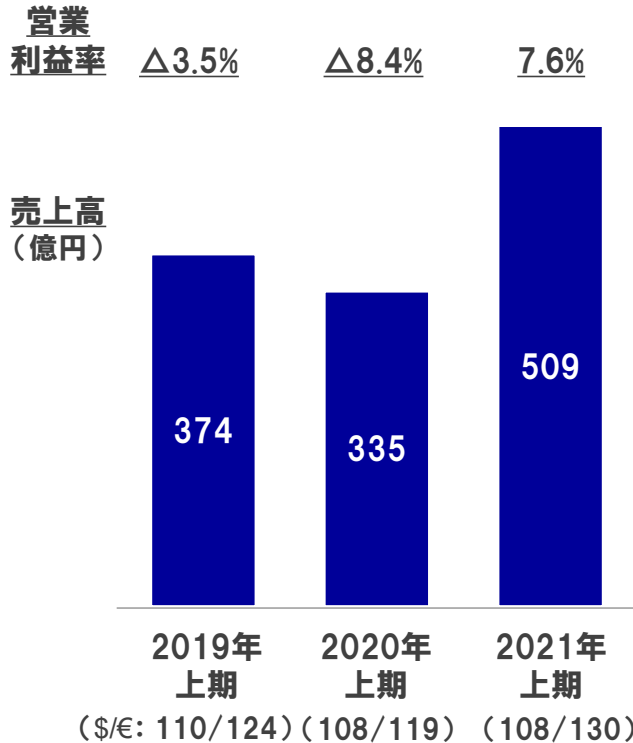


主要国 上期 対2019年 変動



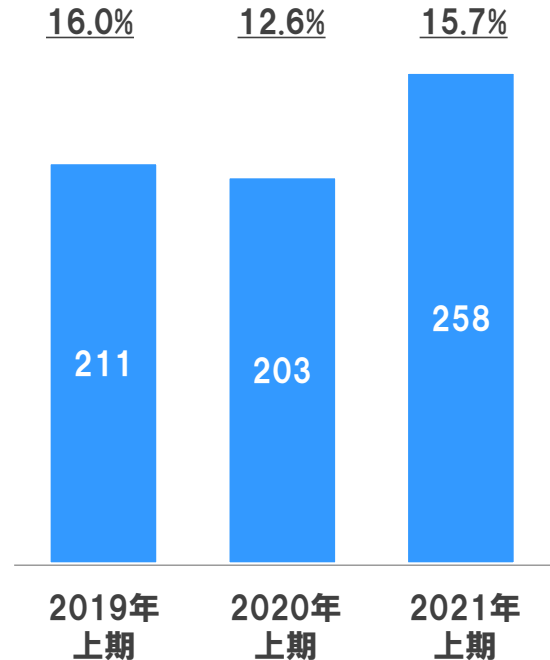
RV事業

需要好調。販売効率化により、黒字化。  
今後も供給力を高める。



SPV事業

パーソナルな移動としての需要拡大継続。  
販売台数が着実に増加し、飛躍事業へ。

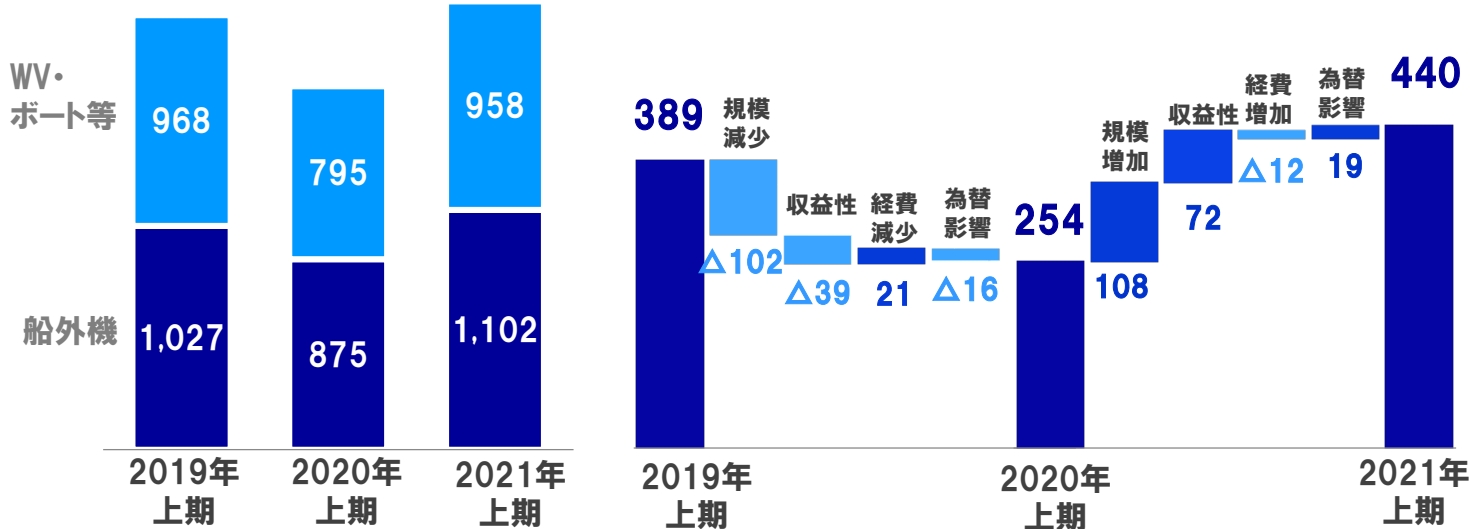


# マリン事業

先進国の旺盛な需要が継続。船外機は物流逼迫の中、生産・販売台数増加。  
WVの供給不足はあるが、海外ボート・部品販売増も寄与し、全体の収益性改善。

営業 利益率	19.5%	15.2%	21.4%
売上高 (億円)	1,996	1,670	2,059

## 利益変動内訳 2021年上期実績

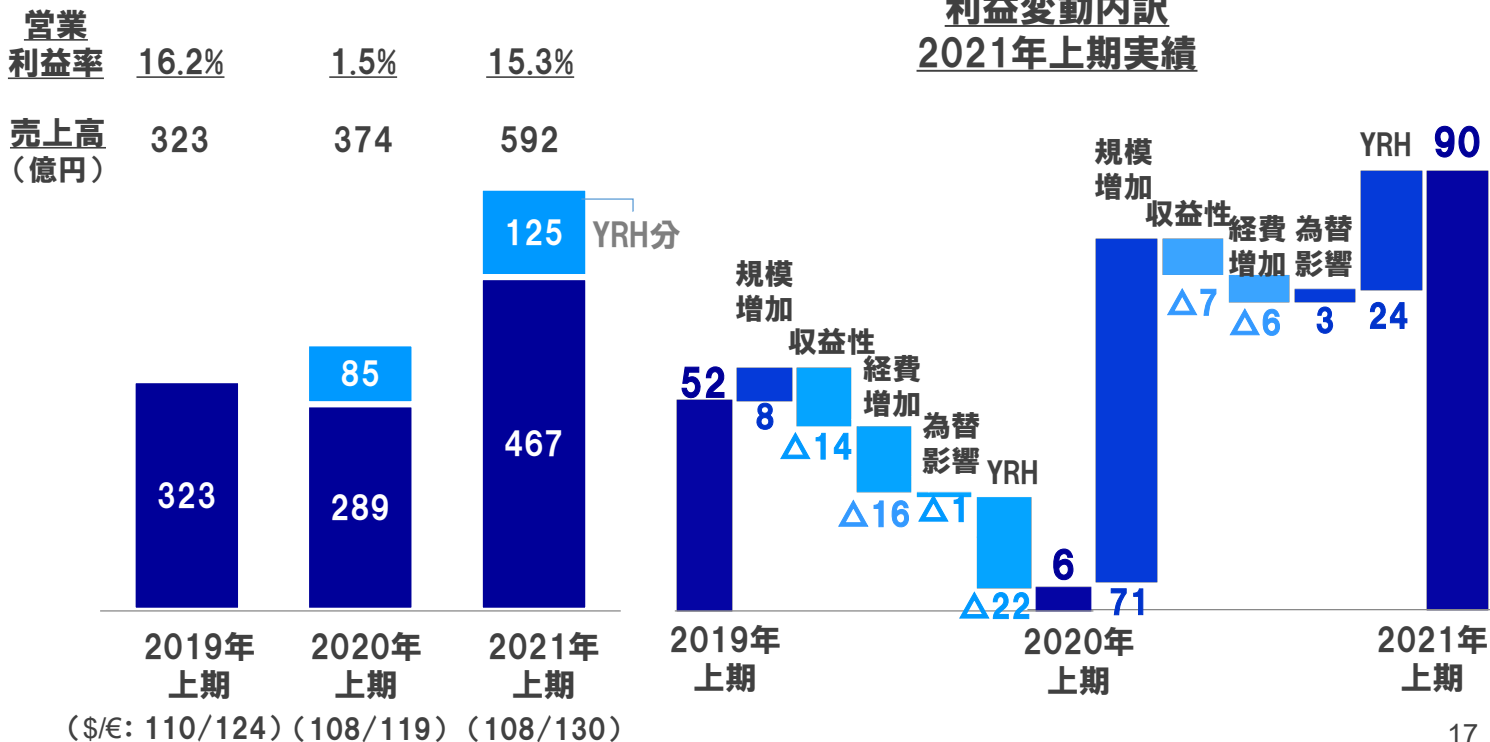


(\$/€: 110/124) (108/119) (108/130)



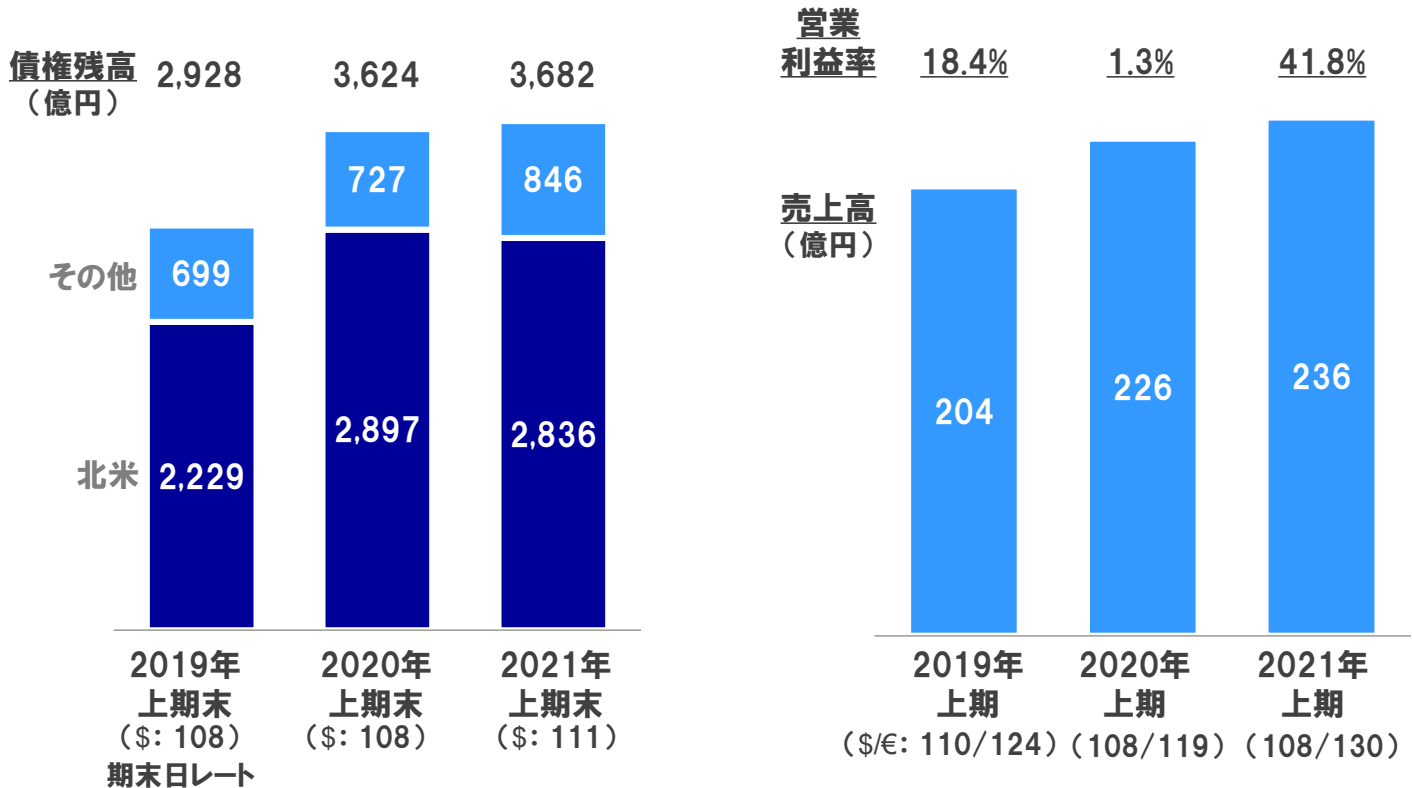
# ロボティクス事業

増収効果とYRH黒字化により、営業利益率が大幅に改善。  
事業統合シナジー本格化で、規模・収益性を両立しながら成長フェーズへ。



# 金融サービス事業

小売ファイナンス好調、貸倒引当金の減少等により、大幅に増益。  
債権残高は安定的に推移。



# 今後の見通し

代表取締役社長 日高 祥博

# 当社出荷台数（2021年 年間予想）

下期も回復継続。市場回復の機会を取り込み、販売を最大化。

（2020年比）

（2019年比）

商品/地域		上期実績	下期見通	年間見通
二輪車	欧州・米国・日本	121%	105%	110%
	インドネシア	136%	140%	140%
	タイ	161%	65%	105%
	ベトナム	117%	115%	115%
	フィリピン	158%	110%	125%
	中国	139%	120%	130%
	インド	139%	110%	120%
	ブラジル	146%	155%	150%
ATV+ROV	北米	146%	120%	130%
PAS		131%	120%	125%
船外機	北米・欧州	114%	105%	110%
マウンター		188%	90%	130%

上期実績	下期見通	年間見通
110%	105%	110%
75%	60%	70%
105%	70%	85%
100%	105%	105%
83%	85%	85%
194%	120%	150%
69%	135%	100%
137%	160%	150%
139%	140%	140%
126%	135%	130%
98%	115%	105%
198%	125%	160%

# 経営業績：2021年（年間予想）

全事業での好調を織り込み、過去最高の売上高・営業利益を計画。

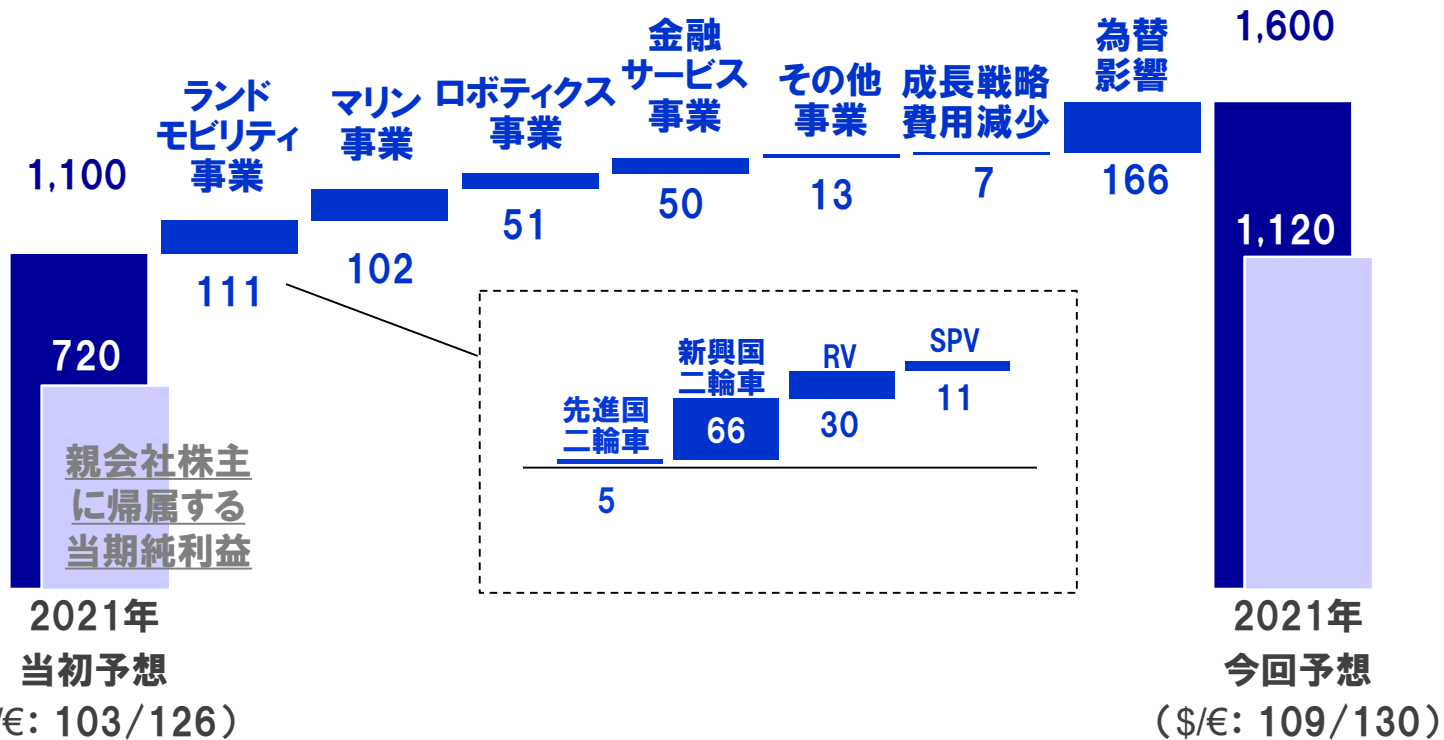
（億円）	2019年 実績	2020年 実績	2021年 前回予想	2021年 今回予想	前年比
売上高	16,648	14,713	17,350	18,500	126%
営業利益	1,154	817	1,300	1,600	196%
営業利益率	6.9%	5.6%	7.5%	8.6%	+3.0pts.
経常利益	1,195	877	1,350	1,650	188%
当期純利益※	757	531	900	1,120	211%

（\$・€）	109.122	107.122	106.128	109.130
（\$/IDR・BR\$）	14,087 3.9	14,447 5.1	—	14,300 5.3

# 営業利益変動要因（年間予想 vs 当初予想）

想定以上の販売回復と経費削減継続により、全事業で増益。

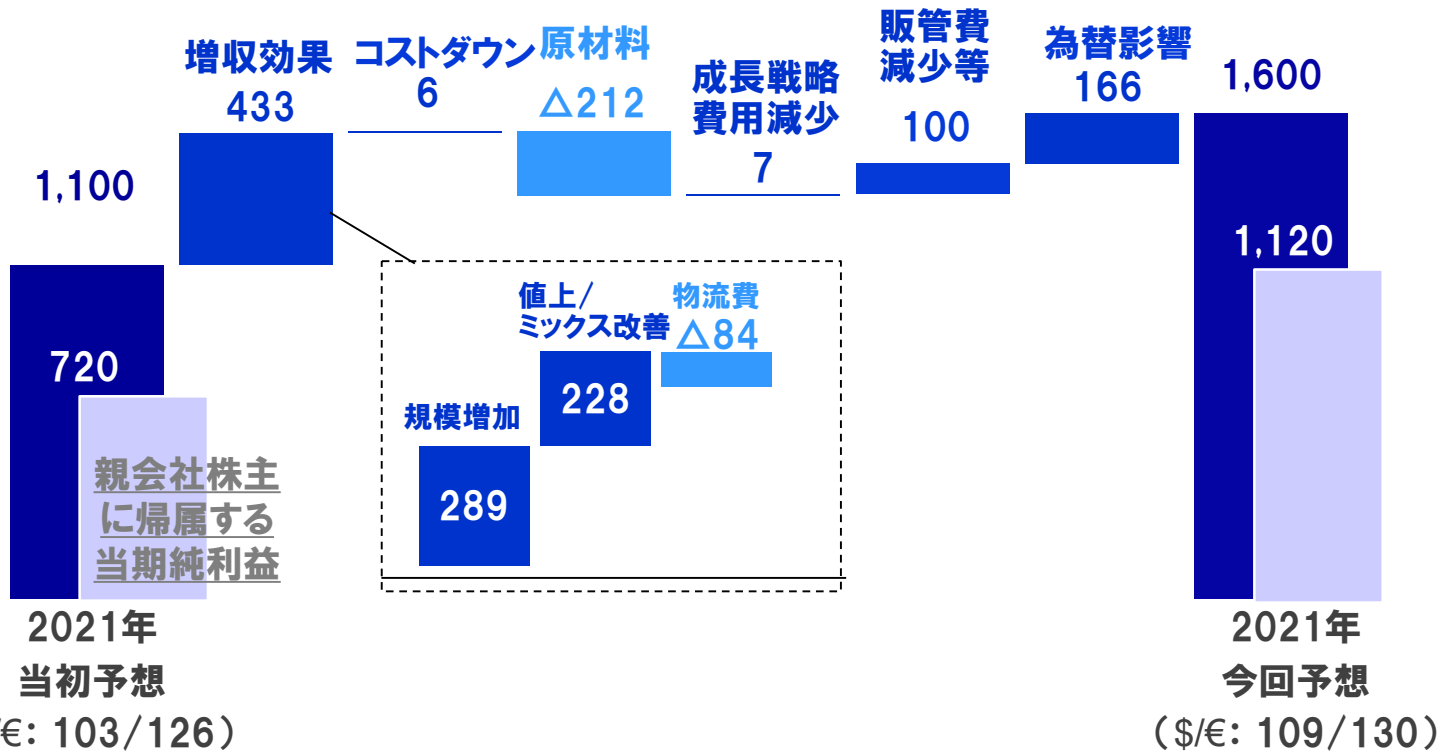
（億円）



# 営業利益変動要因（要素別）（年間予想 vs 当初予想）

想定以上の販売回復・ミックス改善・経費削減継続により、マイナス影響を吸収。

（億円）

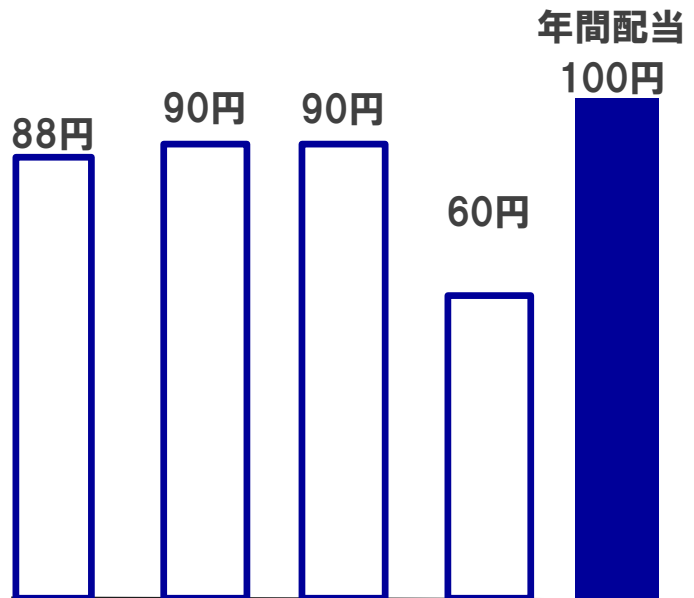


# 株主還元

年間配当100円に増配。

成長投資とのバランスを取り、

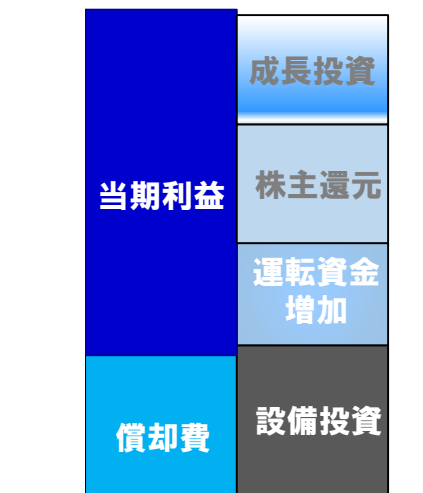
配当性向30%を目安に、安定的・継続的に配当を行う。



年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
実績	実績	実績	実績	実績	予想

EPS :	291円	267円	217円	152円	320円
-------	------	------	------	------	------

配当性向 :	30%	34%	42%	40%	31%
--------	-----	-----	-----	-----	-----



Cash-In Cash-Out

2021年予想  
キャッシュ・フロー  
(販売金融除く)



# 今後の展望 総括

## ■ 好調な事業機会の取り込み

- ・供給課題の改善による販売の最大化（船外機・WV・RV）
- ・成長事業での更なる規模拡大（SPV・ロボティクス）

## ■ 体質改善による収益性強化

- ・デジタル活用による固定費削減の定着
- ・プレミアム戦略の更なる推進（新興国二輪車）
- ・構造改革・販売活動の効率化による収益性の更なる改善（先進国二輪車・RV）

## ■ リスクへの迅速・適切な対応

- ・生産遅延影響の最小化
- ・原材料価格・物流費上昇の販売価格への転嫁

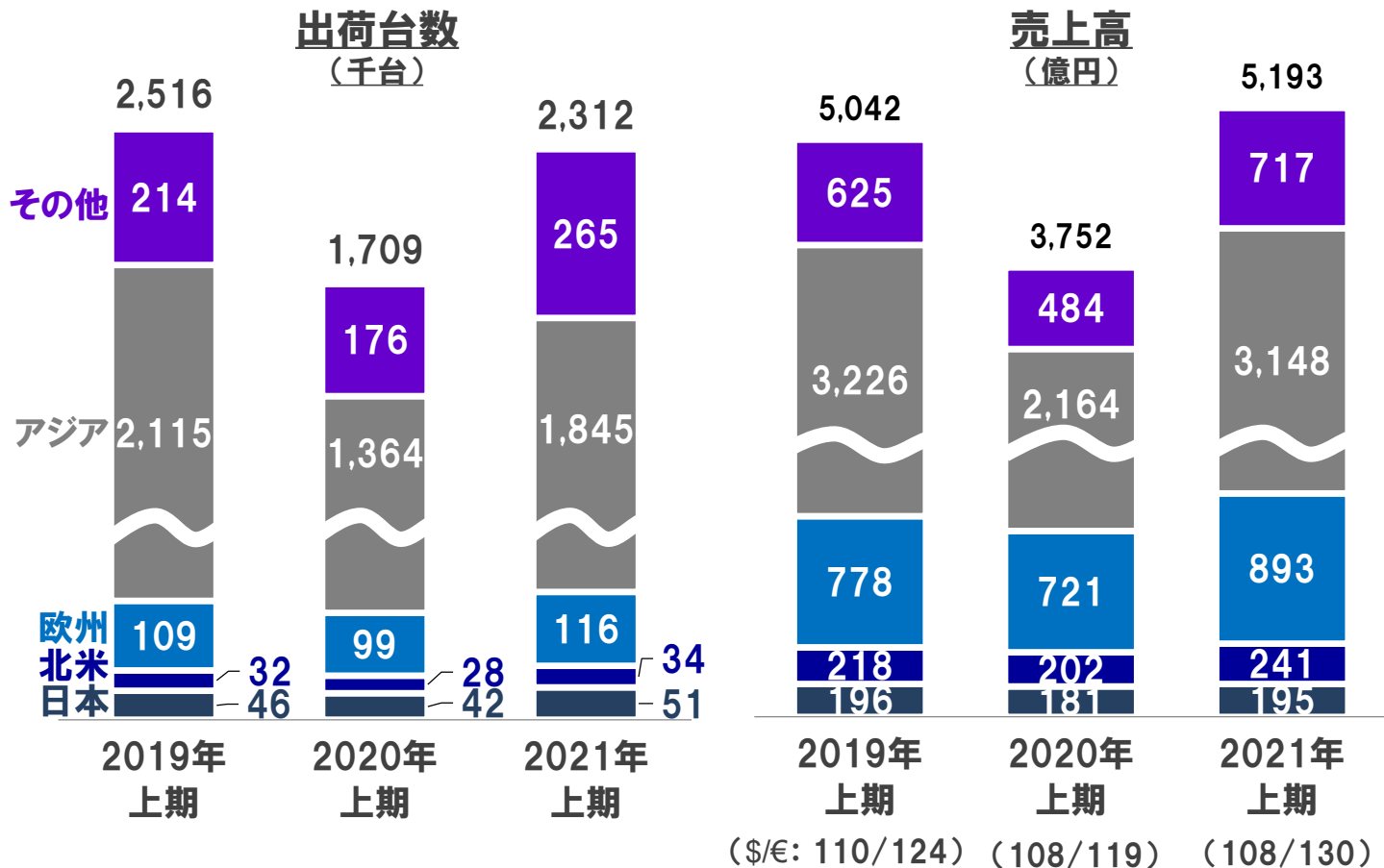
## ■ Afterコロナを見据えた 成長戦略継続とカーボンニュートラル対応の加速



**YAMAHA**

*Revs Your Heart*

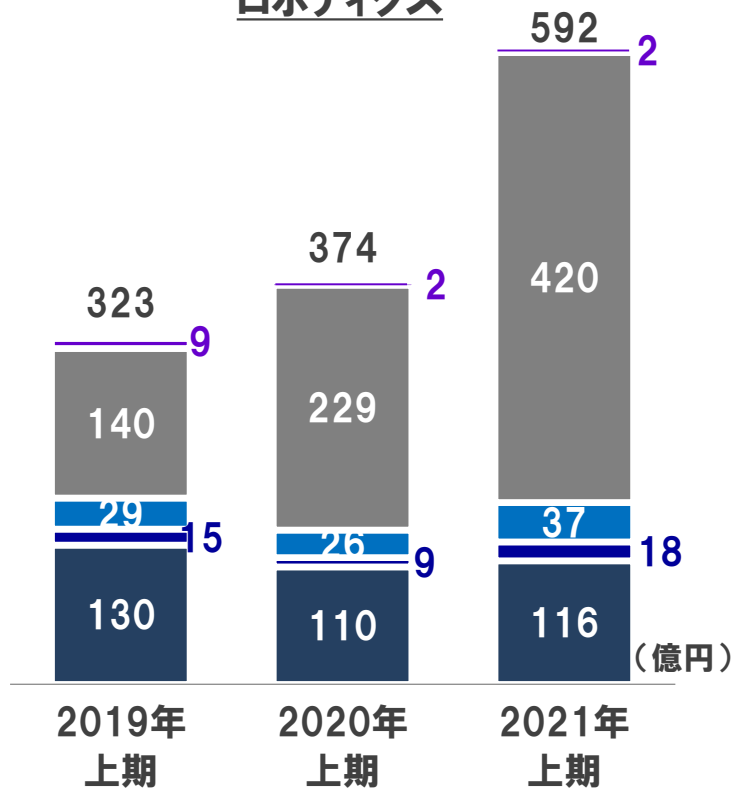
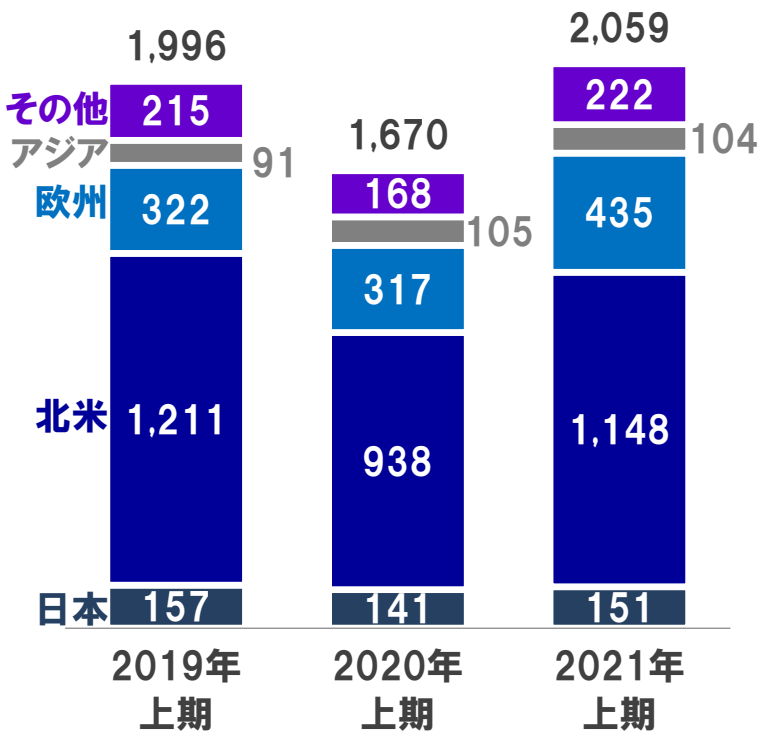
# 二輪車販売台数・売上高（上期）



# マリン、ロボティクス 売上高 (上期)

## マリン

## ロボティクス



(\$/€: 110/124) (108/119) (108/130)

(億円)

# 設備投資・減価償却費・研究開発費・有利子負債

(億円)

	19年上期	20年上期	21年上期
<b>設備投資</b>	<b>197</b>	<b>232</b>	<b>261</b>
<b>減価償却費</b>	<b>253</b>	<b>244</b>	<b>252</b>
<b>研究開発費</b>	<b>472</b>	<b>455</b>	<b>450</b>
<b>有利子負債</b>	<b>3,441</b>	<b>7,233</b>	<b>4,846</b>

# 為替影響（対前年）

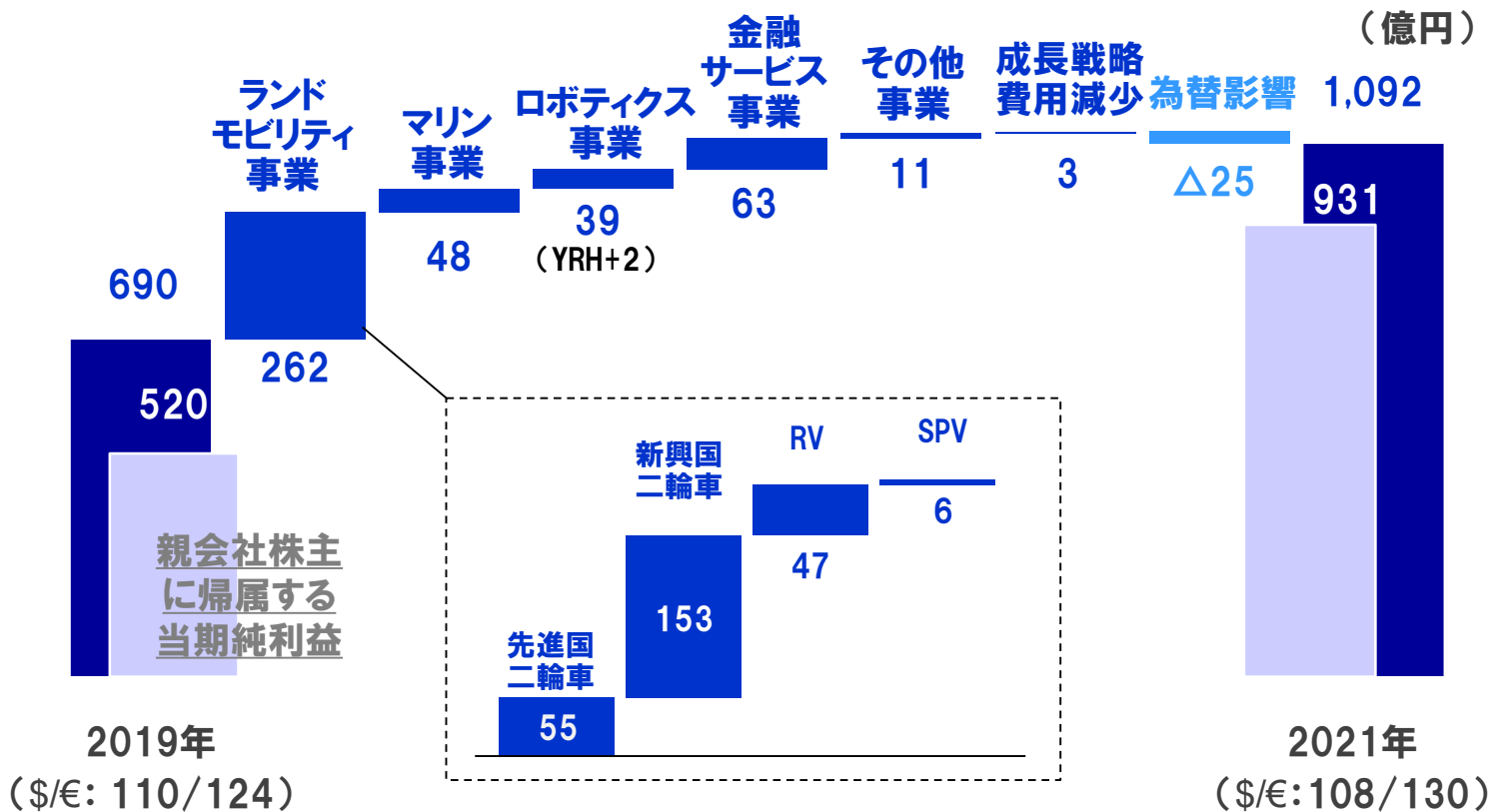
(億円)	上期			
	US\$	EURO	その他	合計
本社の輸出入にかかる為替影響	△7	43	16	51
為替による仕入影響（海外子会社）	0	0	△68	△68
粗利益の換算影響（海外子会社）	△1	27	18	44
販管費の換算影響（海外子会社）	1	△14	△10	△23
<b>営業利益への為替影響</b>	<b>△8</b>	<b>56</b>	<b>△44</b>	<b>5</b>

## 為替感応度

1円の変動が営業利益  
に与える影響額

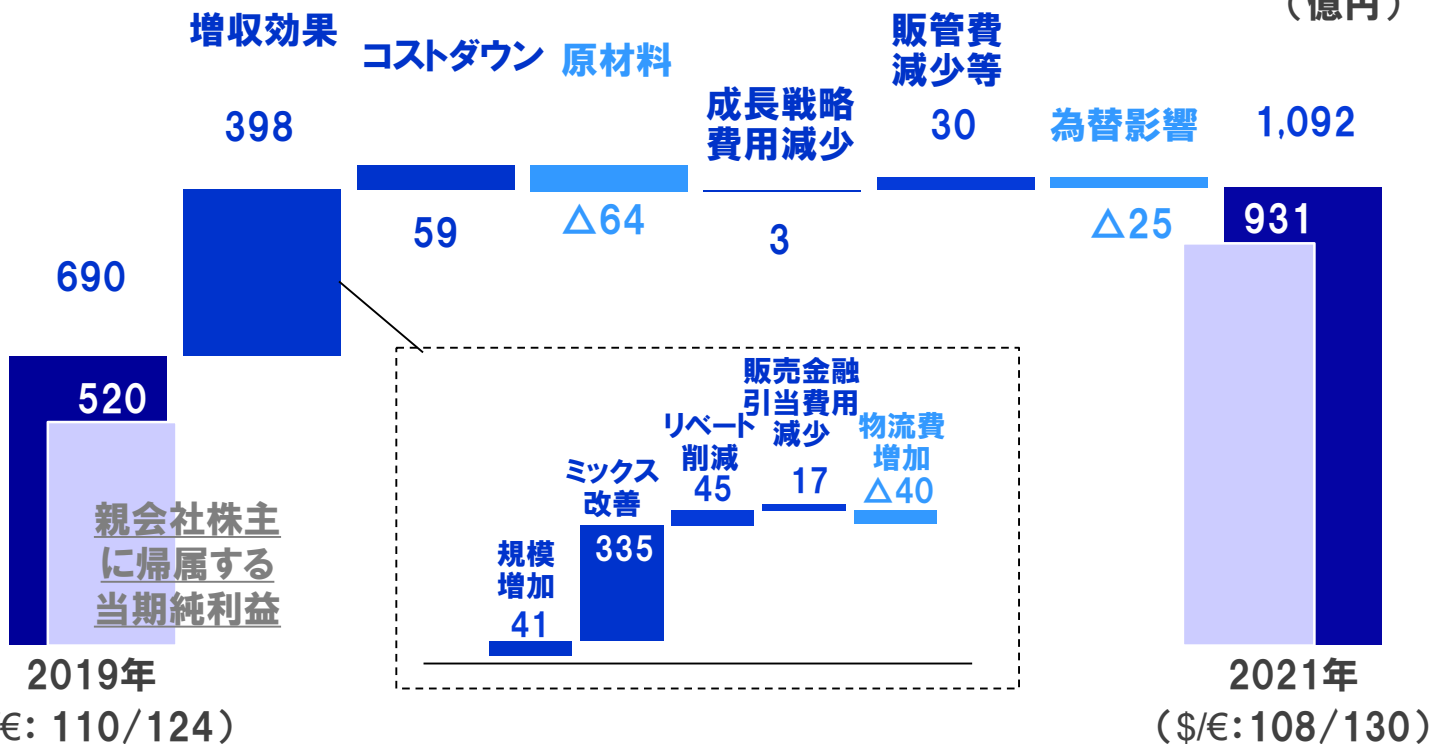
US\$	EURO
8億円	4億円

# 2021年上期 営業利益変動要因（事業別、対2019年）



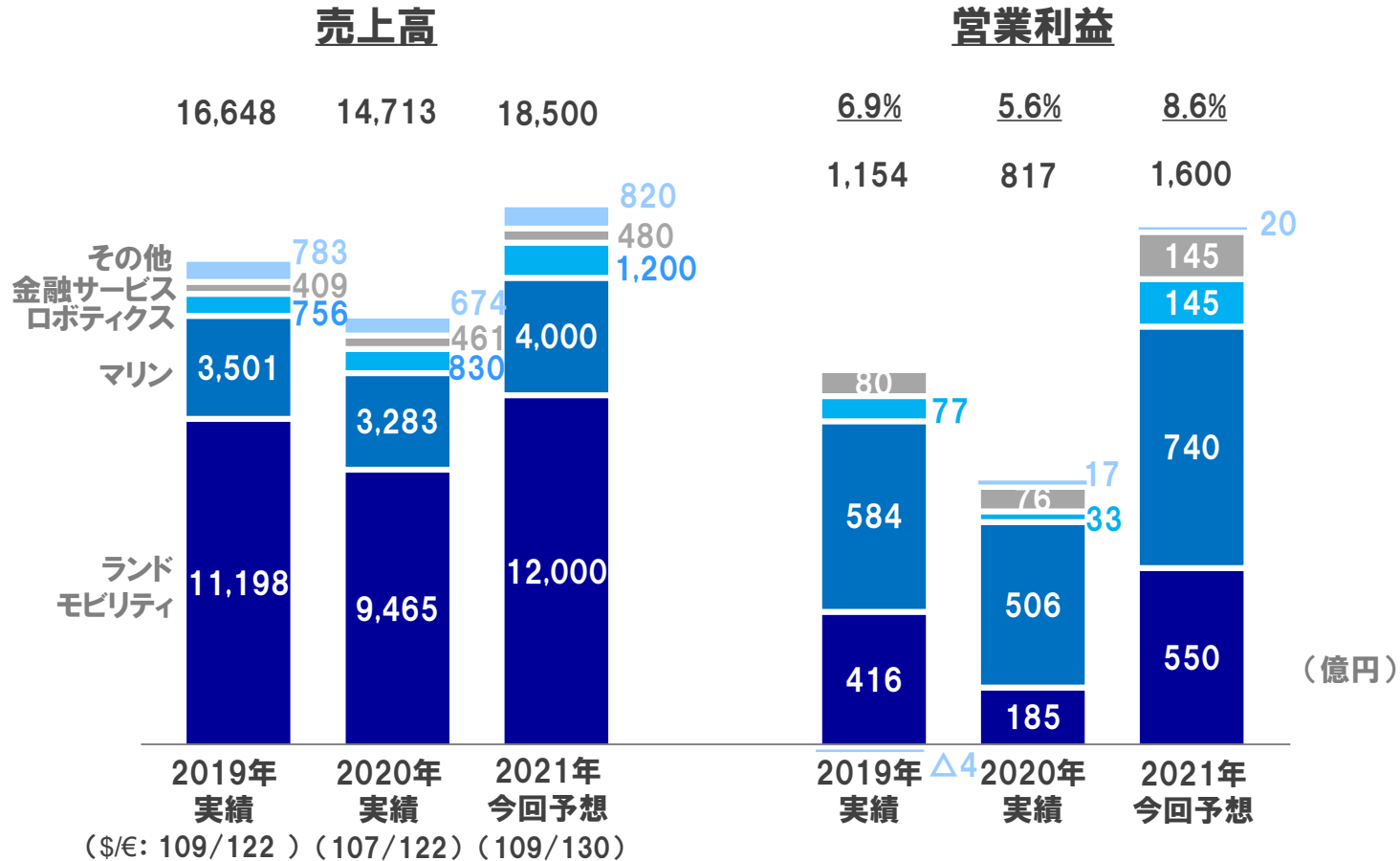
# 2021年上期 営業利益変動要因（要素別、対2019年）

（億円）





# 事業別 売上高・営業利益（見通）





**YAMAHA**

*Revs Your Heart*